



## 先輩 友情のレポーター 安田菜津紀と行く！ 第34回 友情のレポーター（2023）募集

### 『友情のレポーター』とは…

アジアの国で取材を行い、日本と取材先の子どもたちの現状を伝えるのが「友情のレポーター」です。帰国後は自分たちが見たこと、知ったことを日本の人々に広く伝え、日本で暮らす私たちにはどのようなことができるのかを考えていくのがその役割です。1995年以來、カンボジアやフィリピン、ヨルダンなどの国々に計66名のレポーターが派遣されています。

### 取材について

2023年夏休みの「友情のレポーター」（2名）は、KnK活動国にて困難な状況にいる子どもたちと交流し、彼らが抱える問題、支援の現場などを取材する予定です。今回の渡航にはTVなどでも活躍中のフォトジャーナリスト、安田菜津紀さん（2003年友情のレポーター）も同行し、あなたに取材の「いろは」を伝授します。

日程は2023年8月上旬出発（10日間程度）を予定しています。詳細はレポーター選抜後に最終決定されますが、いずれの場合も派遣先は「安定した情勢にあり、困難なく現地に入れること」という条件を満たす地域に限定され、現地的情勢によっては出発直前でも行き先・日程の変更や延期となることもあります。あらかじめご了承ください。取材には「国境なき子どもたち」のスタッフが全行程に同行します。取材旅行にかかる費用は主催者が負担します（パスポート取得費は除く）。

帰国後は、広報活動に参加してもらう予定です。取材報告の文章を書いたり、人々に向かって話したりする活動に参加してみたい方の応募をお待ちしています。

審査は、KnKスタッフと安田菜津紀さんに加え、荻上チキさんと一緒に行います。

### 審査員プロフィール

#### 安田 菜津紀

1987年神奈川県生まれ。認定NPO法人 Dialogue for People（ダイアログフォーピープル/D4P）フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『写真で伝える仕事 -世界の子どもたちと向き合って-』（日本写真企画）、他。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。



#### 荻上 チキ

1981年、兵庫県生まれ。評論家、ラジオパーソナリティー。NPO法人・ストップいじめ！ナビ代表、社会調査支援機構チキラボ代表。TBSラジオ〈荻上チキ・Session-22〉（現・〈荻上チキ・Session〉）が、2015年度、2016年度ギャラクシー賞（DJパーソナリティ賞、ラジオ部門大賞）を受賞。著書に、『みらいめがね』（暮しの手帖社）、『社会運動の戸惑い』（勁草書房）、『宗教2世』（太田出版）など。

主催：認定NPO法人国境なき子どもたち（KnK）

協賛：国際ソロプチミスト東京一広尾 協力：認定NPO法人 Dialogue for People

お問合せ：認定NPO法人国境なき子どもたち 友情のレポーター係

〒161-0033 東京都新宿区下落合 4-3-22 電話：03-6279-1126

E-mail：kodomom@knk.or.jp URL：knk.or.jp

## <2023 年夏休み 友情のレポーター 応募要項>

- ◆募集対象 : 日本在住の 11 歳から 18 歳までの方  
(締切日の 2023 年 5 月 15 日の時点で該当年齢の方)  
帰国後に最低 1 年間、日本国内での広報活動に積極的に参加できる方
- ◆応募方法 : 締切日までに次の 2 つのものを郵便または宅配便でお送りください。ファックス、電子メールでの応募受付はできません。また、応募書類の返却はできませんのであらかじめご了承ください。

### ① 所定の応募用紙

本人の顔写真を貼付（一人で写っているものに限りです）。

※事情により、写真が用意できない方は写真なしでも応募可能

1 名につき 1 枚の用紙を使用し、必ず**応募者本人の手書き**で記入してください。なぜ自分こそが友情のレポーターにふさわしいかその理由をアピールしてください。他にも自己 PR の参考資料があれば添付しても構いませんが、返却はできません。

### ② 課題レポート

課題テーマ：「ある日、突然…！」

自由に表現してください。レポートは 1 名で 1 作品、未発表のもので文章は必ず**手書き**で書いてください。形式や枚数は自由です。

- ◆応募先 : 〒161-0033 東京都新宿区下落合 4-3-22  
国境なき子どもたち 友情のレポーター係  
TEL : 03-6279-1126  
注) 応募者の個人情報については、国境なき子どもたちが責任を持って保管し、本事業の確かな実施（連絡、運営、後日の問合せ対応等）にのみ利用させていただきます。
- ◆応募締切 : 2023 年 5 月 15 日（月）必着
- ◆結果発表 : 5 月下旬に応募者全員に郵便でご連絡します。  
(事務局への結果のお問合せはご遠慮ください。)
- ◆取材予定 : 8 月上旬出発予定（10 日間程度）
- ◆派遣国 : バングラデシュ（予定）

**あなたの目で、見てきてください。**

**あなたの言葉で、伝えてください。**

③

課題レポート

テーマ：「ある日、突然…！」

2023年夏休みの友情のレポーターは、KnKがバングラデシュの首都ダッカで運営する「ほほえみドロップインセンター」に通うストリートチルドレンと交流し取材する予定です。

言葉も通じず、育ってきた家庭環境や生活状況も皆さんとまったく異なる子どもたちと交流し、互いに理解し合い、取材するには、活発な行動力と想像力が必要となることでしょう。世界中の誰とでも心を一つにすることができるという自信のある方、ぜひご応募ください。

ある日、突然…！

(レポートのテーマ)

ある日、あなたは道ばたに汚れたコインが落ちているのを発見します。そのコインは真ん中に穴が開いていて5円玉によく似ていますがどうやら日本のお金ではないようです。

コインを手にとってみると、穴の向こうからザワザワと音がしました。フシギに思って穴の向こうをのぞいたとたん、あなたは気を失ってしまいました。

「ブオーン！」と鳴り響く船の汽笛の音にあなたは目を覚まします。寝ていたのは、いつものベッドではなく港の棧橋。しかも暖かい布団ではなくボロボロの布をかぶっています。「おい！早く起きろよ、もうみんな行っちゃったぞ！」と起こしてくれたのは、見たことのない10歳くらいの少年でした。着ている服はボロボロですが、ニヤッと笑う口から見える大きな前歯が印象的です。あなたが「え？君は誰？ここはどこ？」と聞くと「なに寝ぼけてんだよ、早く仕事を始めないと親分に叱られるぞ！」と返ってきました。

そう、あなたは知らない国で、路上で暮らす子どもになっていたのです！しかも、あなたの家族はどこにもいません。学校にも通っていないらしく、これから仕事をしなければいけないようです。

さて、この後あなたの身に起こる物語を想像してみてください。大きな船が行き来する港でどうやって生活しているのでしょうか。そしてあなたの家族はどうしたのでしょうか。

もしも自分がこのような状況にあったらどうなるか、目を閉じて想像してください。路上で暮らすことになったのはなぜでしょうか。自分が生きていくためにあなたは何をしますか。そして、あなたにとって本当に大切なものとは何でしょうか。

あなたの考えを文章や絵などで表現してください。

(形式、書式、枚数は自由です)

## 国境なき子どもたちとは？

国境なき子どもたち（KnK）は、アジアの開発途上にある国々のストリートチルドレンや人身売買の被害に遭った子どもたち、大規模な自然災害や騒乱の被害にあっている困難な状況下にある青少年を対象に、安定した衣食住と適切な教育や職業訓練を提供することで彼らが子どもらしい生活と人間の尊厳を取り戻し、将来の真の自立に備えることを促進しています。またアジアでの教育支援活動と並行し、本の人々に世界の子どもの現状に関する学習の機会を提供することで、日本と諸外国の青少年がお互いの理解を深め「共に成長していく」ことを目指しています。

## 友情のレポーターとは？

「友情のレポーター」は、日本の子どもたちに向けた教育プロジェクトです。1995年の開始以来、11～17歳の日本で暮らす子どもたちが、マラウイ、スロベニア、ラオス、ベトナム、カンボジア、フィリピン、東ティモール、ヨルダンに派遣されています。レポーターたちはKnKの活動現場やストリートチルドレンなどの現状を取材しながら、現地の子どもの相互理解を深め、帰国後は自分たちが現地で取材したことを様々な形で報告します。これまでに66人のレポーターが派遣されました。



